

社会

〈現在の分析〉

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・見学や観察、聞き取りなどの調査活動を通して、必要な情報を調べまとめることができる児童は多いが、地図帳や地球儀、統計や年表などの資料を通して、必要な情報を読み取り、まとめることに苦手意識をもっている傾向が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象について興味・関心をもっているが、問いを見いだす力が十分に身に付いていない。 ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力が身に付いていない児童が多い。 ・考えたことや選択・判断したことを根拠や理由を明確にして説明できない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習問題を意識し、予想を基に学習計画を立て、見通しと意欲をもって追究することに課題が見られる。 ・学習したことを次の学習や実生活に結び付けて考えようとしたり、生かそうとしたりする態度に課題が見られる。

〈重点課題〉

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・問いに基づいて、地図帳や年表などの各種資料を通して読み取り、まとめること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象の見方・考え方を働かせて、問いを見いだすこと。 ・調べたことを比較、関連、結合して社会的事象の特色や意味、働きなどを考え説明したり、図表等にまとめたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習問題について予想や見通しをもち、すすんで追究し、解決しようとする。 ・学んだことを基によりよい社会を考え、学習したこと社会生活に生かそうとする。

〈授業改善策〉

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・情報を適切に読み取ることができるよう、児童の実態や学年の発達段階に応じた資料を工夫したり、精選したりする。 ・地域や関係機関と連携し、調査活動を積極的に取り入れていく。 ・各種資料の読み取り方を指導し、分かったことや疑問に思ったことなどをノートにまとめる活動を毎時間設定する。 ・毎時間、問いに対するまとめを児童主体で行うようにする。 ・調べて分かったことや考えたことを基に、学習問題に対する自分なりの考えを社会科の用語を用いて根拠や例を示しながら、文章や図表、白地図等にまとめ、交流し合う活動を単元の「まとめる」段階に必ず設定する。 ・学習問題について予想を立てる場面などで、学習したことを意図的に想起させる働きかけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象の見方・考え方を働かせながら多角的に捉えられるような教材の開発、資料の精選、発問などの工夫をしていく。 ・資料などから自ら読み取ったことや、調査活動から分かったこと、考えたことをノートや1人1台端末自分の言葉で表現させていく。 ・児童相互に考えを広げ深めるために、考えたことや分かったことを説明したり話し合ったりする対話的活動を積極的に設定する。 ・思考ツールや1人1台端末を活用し、思考を可視化し、深められるようにする。 ・調べたことを比較、関連、結合した考えを深める表現活動を工夫する。(関連図、表、年表、白地図) ・「つなぐ」段階では、学習したことを基に、実生活で自分にできることを考えたり、選択・判断したりする活動を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入場面では、関心や問題意識を高めるための教材を開発したり、動画や写真、グラフ等の資料提示を工夫したりする。 ・児童が学習問題を追究したいと思えるよう、地域や関係諸機関と連携していく。 ・学習問題に対する予想を基に学習計画を立て、見通しをもって追究する活動の充実を図る。 ・すすんで調べたりまとめたりするために、学年の発達段階に応じて1人1台端末を効果的に活用する。 ・児童が選択して取り組む場面を意図的に設定する。(課題、時間、方法、資料、活動等) ・学習したことと実生活との関わりを関連付けながら考え、グループで話し合う場を設定する。 ・毎時間、めあてに対する振り返りを行うようにする。